



はりまが Vol.1

Hari Maga

第5期中播磨地域ビジョン委員会の
情報が満載!



第5期委員長・副委員長……P.1

あいさつ………P.2

これまでの活動………P.3

各グループ活動紹介………P.5

中播磨地域ビジョン委員会

地域の力がつむぐ元気な中播磨づくり

中播磨地域ビジョンの実現をめざす 第5期中播磨地域ビジョン委員会がスタート

ビジョン委員は、率先して「中播磨地域の将来像(ビジョン)」の実現に向けて、「自己実現社会」「人の輪社会」「安心安全社会」「環境王国」「日本の祭都」「世界の光都」の6つの視点から具体的テーマを設定して、各グループに分かれて活動しています。

平成21年4月18日、中播磨地域ビジョン総会において、99名の皆さんが知事からの委嘱状を交付され、第5期中播磨地域ビジョン委員

会が発足。同時に、委員長に赤鹿保生委員、副委員長に北島正紀委員と福田佳子委員がそれぞれ選出されました。

委員長挨拶を行った赤鹿委員は「これまでのビジョン委員会活動を礎に、中播磨に散らばる魅力的な地域資源に光りをあて、第5期委員としてさらなる地域づくり、人づくりを進めたい」との抱負を語り、会場から大きな拍手が起こりました。



委員会活動の本格的展開へ 平成21年度第2回総会

第5期委員会の発足から約4ヶ月。各委員が所属する活動グループを確定するため、平成21年9月5日、中播磨地域ビジョン委員会第2回総会を開催しました。

冒頭、赤鹿委員長から「いよいよ本格的に第5期中播磨ビジョン委員会活動が展開されるが、第5期委員会の方針を『総合力を発揮し、活動の輪を広げよう』としたい。皆さんのご協力をお願いする」とあいさつがあり、

- ① 委員会内の相互理解を深め一体感を醸成する
 - ② 参加者拡大に努力し次期メンバーの増員に努力する
 - ③ 総合力を発揮してPR効果を高めるための全体的な事業に挑戦する
- の3点の具体的な実践指標について、会場の委員、参加者と確認しました。

次に各グループリーダーから活動の具体的な企画、特徴などの説明が行われた後、委員が実践グループに分かれて今後の活動日程、具体的内容等について意見交換を行いました。



「総合力を発揮し、活動の輪を広げよう」

中播磨地域ビジョン委員会
委員長 赤鹿 保生

第5期中播磨地域ビジョン委員会が4月にスタートし、1年を迎えようとしています。これまで各グループでは着実な実践活動が行われるとともに、去る11月末の推進フォーラムでは、30年後の中播磨地域の未来像についてグループの個性を生かした幅広い提案が出されたところです。

今後はこうしたビジョン活動の実績や成果を踏まえ、ビジョン委員会メンバーだから出せる実践的な意見をボトムアップして参りたいと思います。自らの総合力を発揮し、さらなる活動の輪を広げたい

と思います。

具体的には、各グループが独立の組織として活動するだけでなく、グループ間での委員の交流を深めながら、その集大成として『拡大推進フォーラム』の開催を検討しています。中播磨地域ビジョン委員会の活動を多くの市民の方々に発信しながら、自身の組織の活性化にと務めて参ります。

この素晴らしい地域活動をさらに本格的な展開としていくため、皆さまのご協力をお願い申し上げます。



「中播磨地域ビジョン情報誌 “はりマガ”の発刊によせて」

中播磨地域ビジョン委員会
副委員長 北島 正紀

この情報誌は委員会が一体となり、各グループの情報発信、また地域の皆さまへのPRとして、ビジョンづくりの“励み”や“元気”を載せるものと期待され、責任を担うところです。

今後、「総合力を発揮し、活動の輪を広げよう」を実践目標として、委員会のさらなるパワーアップ、地域住民からの認知度アップ、そして“地域の方々とのネットワーク”を大切に、将来まで持続可能な活動基盤の構築に頑張っていきます。

皆さまのご協力をよろしく申し上げます。



「第5期中播磨地域ビジョン委員会副委員長として」

中播磨地域ビジョン委員会
副委員長 福田 佳子

地域の目指す姿の実現に向けて、各期・各グループが熱心に取り組まれてきましたが、第5期委員会ではさらに大きなうねりにしたいとの全委員の思いを、赤鹿委員長の掛け声の下、拡大推進フォーラムとして具体化します。

皆さんと一緒に、新しい一歩に踏み出せることを嬉しく思います。

拡大推進フォーラムの成功に向けて精一杯努めますのでよろしくお願い申し上げます。

2040年の中播磨地域を展望する

中播磨地域ビジョン推進フォーラムを開催

冬の訪れが感じられる11月29日、第5期ビジョン委員会としては初めてとなる中播磨地域ビジョン推進フォーラムを開催。総合テーマを『2040年 中播磨の元気な未来に向けて ～いま考える課題、そして取り組み』とし、赤鹿委員長の司会進行のもと、知事を交え、約90名の参加者が4つの個別テーマから30年後の中播磨の地域づくりについて多彩なアプローチを行いました。



◆全体会での提案

【①共に支え合う地域づくり】

自分たちの地域は自分たちで動かそうという考え方のもと、ペットボトルのキャップを回収・換金し、地域の福祉などに役立てる『ハートキャップ』運動を展開してはどうか。実際に活動されている地域をモデルに、幅広く根付かせていきたいとの提案がありました。

次に、若者の集う場所が無く、コンビニで群れてみたり、家に引きこもりがちの遠因になっているのではないかと。県では県民交流広場事業を実施されていますが、こうした事業の若者版を検討するべきではないかとのご提案がありました。

【②地域を越えた交流】

担い手不足や耕作放棄地の増加など中山間の地域力の低下が懸念される中、全国の農業系の学生を集め、中播磨の中山間地域の一部を組織的営農の研究フィールドとして利用してもらおうという提案です。具体的には、農作物の栽培が困難な中山間地域において放牧による畜産業を興し、そこから出る家畜糞尿を周辺地域で活用するとともに、これらを組織的に行い合理的な人の配置を追求することで環境資源と人的資源を循環させていくシステムについて収入面などから研究してもらえようかという意見でした。



【③地域に根ざした仕事づくり】

地域に根ざした仕事をつくっていくためには、“人の交流を育み、地域の財産を活用していこう”という意見に集約されました。取り組みとしては、「銀の馬車道」や「県立大学」「姫路港」「姫路城」など、中播磨地域に存在する有形無形の地域資源のブランディングを展開。ブランディングにあたっては、姫路港や県立大学から全国、そして世界に発信していったらどうかという提案でした。

【④環境に優しい地域づくり】

環境づくりでは、『教育の重要性』について意見が出されました。環境教育を行政だけに任せるのではなく、地域や環境保全団体のサポートのもと、“体で覚える教育”を実施します。そのため、人と関わっていく、自然や地域と関わっていく中で愛着が育まれ、遊び場になっていく。自分の愛する遊び場を汚す人はいないし、楽しく遊び続けるためには良好な環境を求め続けるもの。地域と子ども、団体と行政が一体となって、『遊べる学べる“里山”“里川”“里海”』づくりを展開しようという提案です。





次に中山間地域の課題について、去年から、『小規模集落元気アップ作戦』の準備を進めていますが、一番大事なのは農山村地域の人たちが自分たちの地域を活性化したい、良くしたいという共通の目標を持てるか持てないかで違ってきます。“誰かが一人でやればいいや”っていうのではなく、どれだけ地域ぐるみの目標を持てるか、それが一つのポイントとだと思いました。

【井戸知事のコメント】

自分たちの活動資金は自分たちで稼ぐんだという意見は、どれだけ稼げるかにもよりますが、共同作業を通じて団結し、仲間を増やしていくというのは非常に意味があると思いますね。面白い提案だと思いました。

また、若者が集まる場所として、県では『若者ゆうゆう広場』がありますが、これは中高校生たちを大学生や大学生より少し上の方たちに指導してもらっている事業です。

若い人たちはお兄さんやお姉さんの言うことは聞くのですが、お父さんやお母さん、おじいさんとかおばさんの場合はあまり聞かないんですね。そういう意味では、今日も大学生の諸君がたくさん参加して頂いているけれども、先輩とどう結びつけるのかということがポイントになるのではないのでしょうか。



県立大学が地域の資源だと言って頂いたのは私としては大変嬉しかったです。結局、産官学の連携という時、工業製品の新たな製品を作るとか、どちらかというと2次産業的発想、ものづくり的発想になりがちです。ご提案はきっとソフト面での連携もやれるぞっていうことだと思いますので、産官学のソフト面での連携をどのように進めていくか、これは一つの新しいアイデアを出して頂けたのではないかなと思います。

また、姫路港が50周年を迎えたわけですが、姫路には姫路で生産している工業製品がたくさんあります。ただ、その製品はたいてい神戸港から出て行っているんですね。姫路から加古川にかけて工業出荷額が5兆円を超える全国有数の工業地帯です。播磨臨海道路がどうして必要かという、そうした工業製品を姫路港から出そうというのではなくて神戸から出そうという発想で、神戸まで運ぶ道が必要だという理由なのです。そういう発想だけでいいのかどうか、ご提案を踏まえて一つ問題意識をもって検討しておかなければならないのではないかなと思いました。

今年から私どもは全小学校3年生を対象に『環境学習』として、農林漁業のフィールドで学ぶという活動を始めております。環境を体で覚えさせる体験と、それを支える体制あるいは活動が裏に付いてくれるかどうか、これが非常に重要だと思います。県民の方々はいま何かやりたい、CO₂25%削減に協力したい、という意欲が強くなると思いますが、さて何をするのか、具体的に何をやればいいのか。活動主体が県民の皆さんを取り込んでいく、そういう目で自分たちの活動をもう一度評価していけばいいのではないかなと思います。

中播磨地域ビジョン委員会

実践活動グループの紹介

1 子育て支援、地域で大きく育てよう!! グループ

子育て支援は大事な転換期にあると考えています。次世代を担う若者の自立、家庭・地域の役割…気づいていただき、わかってほしい、繋いでいただければ、少しずつ人の輪が、広がることを願っています。

“出来るときに出来ることを”



グループリーダー
榑橋 行雄

活動紹介

子どもたち(3~35歳)が社会生活をするうえで、どんな支援ができるかを短~長期的に考え、次世代の若者らとの交流を持ち、『できる事を、できる時に、できる人が』をモットーに「ユースアドバイザー研修」や、講師を招いての講演会、童話の読み方研修などを行っています。



グループ会議の様子



若者らの自立を考える交流会

2 中播磨の高齢者健康づくりグループ

我々のグループは、体力測定会の実施はもちろん、これを契機に皆さんの身体状況に応じた健康づくり運動のアドバイスを心がけています。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。



グループリーダー
馬部 一清

活動紹介

高齢化の進展に伴い、高齢者自らの健康維持が今や社会ニーズとなる中、自身も体力年齢や身体の弱点を把握し、より効果的な“健康づくり”運動が求められています。そこで、校区老人会と連合して、高齢者の体力測定会を実施し、年を追う毎に地域の高齢者の意識も高まり、参加者も増加しています。また、ピンボウリングやクロリティ(輪投げ)などのニュースポーツの振興にも取り組んでいます。



長座体前屈



上体起こし



開眼片足立ち



握力



10m障害物歩行



6分間歩行

3 ふれあい交流の場「夢サロン」開催グループ

私たちのグループは、世代や地域を超えた交流を通じ、親子、地域と地域の連携を深めたい、未来を担う子どもたちが中播磨の土地や人々を愛する心を育みたい、と願い活動しています。来年度も引き続き、お米づくりによる地域との交流を展開してまいりますので、皆様のご協力・ご参加をお願いいたします。



グループリーダー
中杉 哲也

活動紹介

第5期では、『お米づくりで三世代交流』に取り組んでいます。田植え体験や稲刈り体験の他、ホテルの観察会や生き物観察会なども行い、地域で活動している方々と連携して、世代を超えてふれあい交流する場づくりを進めています。



稲刈り



脱穀



地域の皆さんとお餅つき



4 地域一体となった防犯への取り組みグループ

今、世間では毎日のようにテレビや新聞で悪質な犯罪が大きく報じられています。私たちが住むこの中播磨は世界遺産姫路城もある大変美しいまちです。この美しいまちにふさわしい犯罪のない安全なまち・安心して暮らせるまちを、中播磨の住民皆で作っていききたいと思います。



グループリーダー
原 正幸

活動紹介

第5期は、防犯灯の効果を検証していきます。安全安心な中播磨を作っていくため、地域と連携して防犯対策に取り組んでいきます。今年度は『姫路ゆかたまつり徒歩暴走族根絶キャンペーン』への参加や、姫路警察署新庁舎見学会などを行いました。



姫路ゆかたまつり
徒歩暴走族
根絶キャンペーン



姫路警察署
新庁舎見学会

5 たのしい絵マップ～地域と施設・作業所をつなぐ～グループ

初めて絵マップを作成してから4年が過ぎました。今回は更にエリアを拡大し、前回より多くの施設や作業所を掲載できるように頑張ります。ハンディキャップの有無にかかわらず、お互いの違いを認め合いながら理解を深め、ともに支え合い、住み慣れた地域で、ずっと安心して暮らしていけたらいいですね。みなさんも、ぜひご参加ください。



グループリーダー
來住 薫

活動紹介

第5期では、前回作成した絵マップからエリアを拡げ中播磨全体の絵マップ作りにチャレンジします。授産品の販売支援をはじめとして、障害者の方々の社会参加に役立つ活動、施設や作業所間の協働につながる活動を進めていきます。

中播磨版絵マップ完成間近!!



当グループからの呼びかけに応じて頂いた50を超える福祉施設・作業所等を、マップと写真で紹介する『たのしい絵マップ ～ひろがり～』を作成中です。この情報誌が刊行される頃の完成予定で、関係団体等に配布します。興味のある方は、ビジョン委員会事務局までお問い合わせください。

6 『山・川・海』子どものための水のネットワークづくりグループ



雨水は 山・川・海を 巡ります
よい水は うまい食物 育てます
水と食物 命の源!
山・川・海にありがとう!!



グループリーダー
吉村 耕治

活動紹介

中播磨地域で自然環境保全に取り組む活動団体・グループのネットワークづくりに取り組んでいます。第5期では、第4期で作成したマップをもとに、イベントの開催や機関誌の発行など更に活動を広げていきます。

食と生命と里山と～私たちの中播磨in2020～



奈良県立大学
村田武一郎教授

ワールドカフェの様子

平成22年3月7日、姫路総合庁舎福利センター大会議室において標記フォーラムを開催しました。今回は、基調講演に奈良県立大学の村田武一郎教授を招き、海から見た自然環境と生物の関わりを考えたほか、姫路農林水産振興事務所から中播磨地域の農林水産業について地域食糧自給率など興味深いデータを交えた講演を実施。その後、実践活動家の方々とともに全員で食、仕事、担い手、地域、に分かれたワールドカフェを開催し、活発な意見交換が行われました。

7

ゴミ減量化活動の輪を拡げようグループ

石川県小松市では、スイカの皮を干してから可燃ゴミとして出す習慣が十数年前から続いています。スイカの皮は干すことにより水分が蒸発し燃えやすくなり、また体積も減ることから生ゴミ焼却費の節約につながります。私たちの心がけひとつで「エコ」は今すぐにでも始められます。皆さまも「エコ」生活を始めてみませんか？



グループリーダー
西奥 啓二

活動紹介

ゴミのない町を実現していくため、「国際交流フェスティバル」などのイベント会場におけるゴミ分別投棄の啓発活動をはじめ、レジ袋の削減や『ゴミ減量の輪を拡げ隊』の実践に取り組んでいます。また第5期では、日々の生活でできる環境にもお財布にもやさしい「エコ」について考えていきます。

平成22年3月5日(金)
市川町文化センターで行われた中播磨環境交流会議に参加してきました!



当グループメンバー
西村氏考案生ゴミ処理機

ペットボトルのキャップで世界の子どもにワクチンを届けよう!!

小さなキャップでも分ければ資源に!

ペットボトルのキャップ800個で20円になり、ポリオワクチン1人分に相当し、1人の子どもの命が救えます。

8

歴史街道『銀の馬車道』でつなぐ人と文化グループ

明治初期、殖産興業のため日本初の産業高速道路が中播磨の地に建設されました。沿線地域で人々は地域の発展のため自分たちの家屋の軒先を削って道路建設のために尽力しました。そんなエピソードを通じて明治の人たちの気概に触れ、一緒にこれからの中播磨を考えてみませんか？



グループリーダー
木多見 哲夫
人情喜劇『銀の馬車道劇団』
川人足 太助役

活動紹介

日本初の産業道路『銀の馬車道』沿線の歴史や文化、観光資源などを探訪するとともに、『銀の馬車道』探訪バスツアーやウォーキング、ミニフォーラムを通じて、各地域の人たちとの交流を重ねています。

平成22年6月には、銀の馬車道建設当時、飾磨港から運んだ銀を精錬していた香川県直島三菱金属精錬所見学を実施予定!!



人参役所跡(姫路市)



銀の馬車道交流館(神河町)

9

交流で育む産業づくり～新たな中播磨の名物を体験・発見～グループ

「食べる」という人の行為は、空腹を癒したり、生命維持のためだけにあるのではなく「楽しみ」を生む効果があります。人は「親しみ」を生むために食事に誘い、恋人同士は同じものを同じ場所で食べ、時間を分かち合うことによりその関係を深めていきます。姫路にお越しになられた観光客や、様々な目的で来姫された方々に姫路の思い出や「楽しいシーン」の一つとして「姫路あなご」を楽しんでいただけることを目標に頑張りたいと思います。



グループリーダー
中島 大一郎

活動紹介

中播磨地域の活性化のため、新たな観光名所や地場名産などの「名物」を探しだし、それを発信していきます。第5期では、播磨灘の『あなごプロジェクト』を展開していきます。

播磨灘のあなごがおいしい秘密

瀬戸内海が海峡に挟まれていて閉鎖的な海であり、海水が太平洋の海水と入れ替わるのに約1年余りかかるため、海水が長く滞留し、山川から流れ込んだ栄養を十分に蓄えるためおいしいあなごに育つのです!!



平成21年12月5日市場まつりに出店(姫路市中央卸売市場)

Hari Maga グルメコーナー

絶品!おすすめあなごレシピ 焼きあなごときゅうりのおむすび
～焼きあなごを使って～

材料(小2個分)
・ごはんお茶碗一杯 ・きゅうり適量 ・塩少々
・あなご蒲焼き適量 ・海苔2枚

作り方
1.あなごは短冊に、きゅうりは千切りにします。
2.温かいごはんに、あなごときゅうりを混ぜ合わせます。
3.三角にむすんで、海苔をかぶせます。

レシピ提供 三村晴美

中播磨イベント情報(4月～9月)

- 姫路港ふれあいフェスティバルin2010 ▶ 平成22年7月19日(土) 姫路市飾磨津公園
- 大河内高原 映画「ノルウェイの森」ロケ地記念イベント ▶ 平成22年6月～ 神河町・大河内高原
- 銀の馬車道劇団 公演 ▶ 平成22年8月下旬 福崎町
- 「銀の馬車道」縦走ウォーク ▶ 平成22年9月下旬 朝来市～姫路港
- 中播磨ビジョン委員会フェスティバル(仮称) ▶ 平成22年9月(予定) 姫路市

情報誌に対するご意見
ご感想などのご連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県 中播磨県民局 総務室 地域ビジョン担当
電話(079)281-9053 FAX(079)285-1102
メール:nkharimakk@pref.hyogo.jp